

水稻用殺虫殺菌剤

農林水産省登録
第23202号

ドクター Dr.オリゼ フェルテラ グレートラム 粒剤

殺虫剤分類	28
殺菌剤分類	7,P2

クロラントラニリプロール・チフルザミド・プロベナゾール粒剤

フェルテラ®, RYNAXYPYR®はFMC Corporation またはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標 グレートラム®は日産化学(株)の登録商標

さらに進化を遂げた育苗箱処理剤 「いもち病」・「紋枯病」・「害虫」を同時防除



箱処理
直播栽培の
は種時土中施用
**移植時
側条施用が
可能**

特長

1. いもち病・紋枯病・主要害虫を同時防除！

水稻の主要病害虫であるいもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガを同時に防除できます。

2. 1度の処理で高い効果が長期間持続！

1回の処理により、主要病害虫に対して長期間にわたる高い効果を示しますので、省力的・経済的です。

3. ユニークな作用性！

「Dr.オリゼ」：プロベナゾールは植物の病害抵抗性を誘導してイネいもち病に対し、高い防除効果を発揮するPDA（植物防御機構活性化剤）です。耐性菌発生リスクが低く、各種薬剤耐性菌にも有効です。

「フェルテラ」：クロラントラニプロールは、これまでのどの殺虫剤グループとも異なる、まったく新しい次世代の殺虫剤です。新しい作用性を有していることから、既存の殺虫剤に抵抗性の発達した系統の害虫に対しても優れた効果を示します。

「グレータム」：チフルザミドは紋枯病菌の各生育ステージに作用しますが、特に翌年の感染源となる「菌核」の形成阻止力に優れます。

●適用病害虫および使用方法

○箱処理の場合 1箱当り50gを均一に散布して下さい。（高密度は種の場合は1箱当り50～100g）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 紋枯病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ツマグロヨコバイ フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50g	移植3日前 ～ 移植当日	1回	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	1回	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50～100g)						

○移植時 側条施用の場合 専用の移植同時施薬機を用いて下さい。※使用前にラベルに記載の使用上の注意事項をご確認下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
湛水直播 水稻	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	1 kg/10a	移植時	1回	側条施用	1回	3回以内 (は種時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (は種時までの処理は1回以内)

○直播栽培は種時 土中施用の場合 専用のは種同時施薬機を用いて下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	1 kg/10a	は種時	1回	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1回	3回以内 (直播ではは種時又は移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)

●試験成績

いもち病 宮城県古川農業試験場 場内圃場(宮城県大崎市古川) (平成30年)

【処理方法】 移植時側条施用

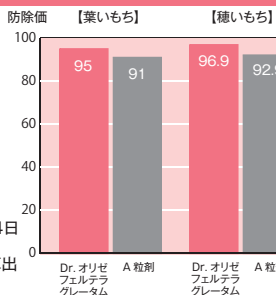
【発生状況】 葉いもち：多発生（接種）、
穂いもち：少発生

【処理月日】 5月17日

【対 照】 A粒剤

【耕種概要】 品種：ひとめぼれ
播種：4月20日 移植：5月17日 出穂：8月4日

【調査項目】 葉いもち：株当たり病斑数より防除値を算出
穂いもち：被害度より防除値を算出



紋枯病 鳥取県農林水産総合研究所農業試験場 場内圃場(鳥取県鳥取市橋本) (平成22年度)

【処理方法】 育苗箱処理

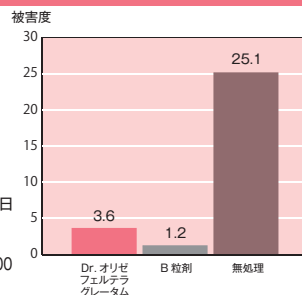
【発生状況】 紋枯病 中発生（接種）

【処理月日】 5月25日（移植当日50g/箱）

【対 照】 B粒剤

【耕種概要】 品種：コシヒカリ
播種：5月3日 移植：5月25日 出穂：8月6日

【調査項目】 紋枯病：被害度
被害度=(1.62×病斑高率-32.4)×発病株率/100
調査日：9月7日（移植105日後）



本剤は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないで下さい。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ／ご注文は